

Japanese Speaking Parents Association
of Children with Challenges
(JSPACC)

201 East Third Street, G 104, Los Angeles, CA 90015

「JSPACC」とは？

JSPACC (Japanese Speaking Parents Association of Children with Challenges)

は、ロスアンジェルスを拠点とした、障害を持つ子供たちの、日本語を話す親たちが組織するサポートグループです。ロスアンジェルス社会福祉エージェンシーであるリトル東京サービスセンターの協力の下で活動しています。障害を取り巻くアメリカの法律やシステム、常識の違いを日本語で学びつつ、精神的にも支えあうことで、各親の自立をサポートしていくことを目的に活動

会員の構成

JSPACCの活動に関心のある方は誰でも会員になることができます。現在会員は、障害を持つ子供たちの親を中心に、医療、福祉、教育などの専門家や関係者、一般ボランティアで、入会登録会員は約200名です。会員の多くはロスアンジェルス郡、オレンジ郡近辺に在住ですが、その他、州外、日本にも輪が広がっています。各会員の英語力や米国における滞在ステータス、滞米年数は様々です。子供たちの障害の種類も、知的障害、自閉症領域障害、ダウン症などの染色体に起因する障害、脳性マヒ、けいれん関連障害、聴覚障害視覚障害、病気や事故による後遺症、学習障害、ADD/ADHD(注意欠陥・多動障害)など多岐に渡ります。

活動内容

下記のような活動を通して、各会員間の情報交換や親睦を図っています。全ての活動は会員及び一般のボランティアによって企画・運営・遂行されています。

- 。各方面からのスピーカーを招いて講演会や勉強会
- 。親が講演会・勉強会に参加している間、別室にて「子供のプログラム」提供
- 。小部会活動(地域別、目的別活動)
- 。クリスマスパーティーやピクニックを通してのファミリー間交流
- 。ニュースレターの発行
- 。障害関係の著書やビデオの貸し出し
- 。会員及び一般コミュニティからの相談や問い合わせへの受付、情報提供
- 。インターネットやe-mailを利用した情報交換

JSPACCの活動の意義と使命

アメリカにおける障害者を取り巻く環境は進んでおり、法律、システム、情報の公開、人々の意識など、かなり恵まれているといっているでしょう。しかし日本と一番大きく違う点は、アメリカでは障害があるからといって公的機関から自動的に一律のサービスが支給されないことです。一人一人のニーズに合ったサービスを個別に提供することが「公平」なサポートである、との認識から、サービスは色々と用意されていますが、親が自分の子供に必要と思うサービスを探し出し、要求・説得しない限り支給されることはありません。これは学校や医療・療育においても基本的に同じで、親がある程度の知識を持って対等の関係で話し合いを進めていかなければ十分なケアや教育を受けられないのです。いってみれば、親が自分の子供のプロデューサー兼コーディネーターの役割を果たして、自分の子供のためのサポートチームを作っていく必要があるわけです。ところがこういった違いに全く気が付かず何年も不満だけを抱えて過ごしている家族もいますし、言語・文化・習慣の違いも手伝って途方に暮れる場合も少なくありません。残念ながらロスアンジェルスでは現在、このような特殊な状況を相談できる日本語の窓口はなく、それだけにJSPACCの活動は非常に貴重なものといえます。

親であれば誰しも我が子の幸せを願います。障害を持つ子供の親も子供たちに幸せで実り多い人生を送って欲しいと願っています。言葉も習慣も違うアメリカでこの夢を実現していくためには、親が共に支え合いながら情報を交換し、各親がアメリカのシステムを使いこなす知識とノウハウを身につけていく

場を提供することにより、親一人一人の自立をサポートする事が使命と考えています。当会へのお問い合わせ、ご相談は

website: www.jspacc.org

e-mail: info@jspacc.org まで。